



▲大物のますにこぼれる笑顔

大物がたくさん獲れました ～ます釣り大会&子どもますつかみ大会～

5月5日(木・祝)こどもの日にちなみ、『ます釣り大会(西濃水産漁業協同組合安八支部主催)』と『子どもますつかみ大会(同大会実行委員会主催)』が西結地内の中須川用水路で行われました。

この両大会は、子どもたちに用水路を利用した魚獲りを通し、水に親しむ楽しさを知ってもらおうと毎年開催され、今年で18回目となります。

用水路には体長20cmを超える「ます」が約4,000匹以上放流され、多くの家族連れが楽しみました。

子どもますつかみ大会では、ますを隅に追い詰めて何匹も捕まえている子どもや、グループを作り協力しながらますを追いかける子どもたちの姿がありました。



▲エサに食いつくのをじっと待ちます



▲ますを上手に追い込んで



▲水に濡れても何のその

あま～いイチゴをどうぞ

～牧小学校「イチゴ交流会」～

5月6日(金)牧小学校の学校農園で1年生と2年生児童(32人)が、あすわ苑のお年寄りを招いて、牧長寿会の皆さんの指導のもとイチゴを収穫しながら交流をしました。

子どもたちは、真っ赤に色づいたイチゴを収穫すると、お年寄りに自己紹介をしたり、「お元気ですか?」「真っ赤なイチゴをどうぞ」と優しい言葉とともにイチゴを手渡したりして、一緒に味わいました。

この交流会は、子どもたちが相手を思いやり、誰に対しても優しく接することができるよう、毎年行われています。



▲赤くて甘いイチゴはどれかな



高い所も上手に取れるかな

～名森小学校「サクランボ集会」～

5月6日(金)名森小学校の校庭に真っ赤に実るサクランボの収穫を、1年生(80人)と6年生児童(95人)が協力しながら行いました。高いところまで手が届くように6年生が1年生をおんぶして、仲良く収穫を楽しみました。1年生は、6年生のお兄さんやお姉さんの大きな背中の上で満面の笑みを浮かべながらサクランボに手を伸ばしていました。

このサクランボの木は、子どもたちに植物の成長過程や収穫の楽しさを学んでもらうために「実のなる木」として植栽されたものです。



▲たくさん実ったサクランボ